

生命保険不払い事件の経緯

- 2005年 2・25 金融庁が明治安田生命に対する業務改善命令及び業務停止命令
- 4・21 参院財政金融委員会 大門実紀史質疑(明治安田生命不払い問題追及)
- 7・26 金融庁が生保全社に対し保険金等の不払いについて調査命令
- 10・28 金融庁が不払い事案に係る再検証の結果公表。不払い合計32社1,500件72億円
- 10・28 金融庁が明治安田生命に対する業務改善命令及び業務停止命令
- 2006年 7・26 金融庁が日本生命に対する業務改善命令
- 2007年 2・1 金融庁が生保全社に対して保険業法128条調査命令(支払漏れ、案内漏れの追加支払い等報告の命令)(4月13日期限)。
- 4・13 生保全社が報告書提出。(34社が調査完了できず継続)
- 5・18 衆院財務金融委員会 参考人質疑 生損保不払い問題
- 10・5 大手生保4社含む19社が報告書提出。(9月末に完了のため)
- 2008年 2月 金融庁が生保全社に対してヒアリング。調査項目追加を指示(請求案内中止事案の追加)
- 7・3 大手10社に対する業務改善命令。不払い合計37社135万件970億円
- 8・1 第一生命等が業務改善命令に対する改善計画書を提出
- 2009年 2・1 第一生命が業務改善命令に対する改善報告
- 2010年 3・30 参院財政金融委員会 大門実紀史質疑(第一生命の不払い隠し追及)
- 9・8 衆院財務金融委員会 佐々木憲昭質疑(不払いの追加調査公表方針を表明)
- 10・29 金融庁が大手10社に対して調査命令(追加判明した例について)
- 11・29 第一生命が支払漏れ発表(最大3億7500万円)

回 議 書

保険金 第103号

標 題

特定疾病に関する保険金・給付金担当間相互の回付事務による請求案内の廃止について

(決定)

(丁知)

(発議)

部長 []	副審議役 []	報告 決定 10. 3. 27 発議 10. 3. 25	次長 []	起案 []	課名 保険金課 内線 8-21 (7425)
-----------	-------------	------------------------------------	-----------	-----------	---------------------------------

合 議

課長	課長	課長				
[]	[]	[]				
2. 27	3. 26	3. 27				

主 旨

現在、保険金請求・給付金請求があった際に、主請求以外の支払事由が請求書類から判明した場合には他担当へ案件を回付し、査定を行った上で請求案内を行っているが、別紙に説明のとおり、今後特定疾病保険金単独発議における給付金請求案内、および給付金単独請求における特定疾病請求案内を今後廃止としたい。

実施時期 決定後即日

平成20年2月18日
保険金企画課

○過去請求案内を実施していたが中止した事案		資料の形式	内容	備考
1	他病院での入院・手術に対する請求案内の廃止	ペーパー BS承認連絡メール	他病院での入院・手術に関する情報が診断書に記載されていた場合、支社経由で請求案内していたが、これを廃止した。 (理由) ・他病院での治療については情報が確実ではなく、正規有した結果支払対象外となることも少なくない。 ・曖昧な情報によって請求案内することは、苦情にもつながりかねない。	
2	診断書5項の手術について病院照会不可の場合の案内極小化	ペーパー BS承認連絡メール	診断書5項の手術について、手術日・術式・手術の内容に関する病院宛照会が不可となったものは「決定(補足)通知」にて「5項の〇〇手術は照会不可。追記のうえ〇式該当の場合は請求案内」等の案内を支社に行なっていたが、これを廃止した。 (理由) ・支払対象かどうか曖昧なものに案内を出すことは、現地の混乱につながる。 ・手術日のみ不明の場合は、便宜手術日を設定することも考えられる。	
3	高度障害名寄せ別口判明分の請求案内基準	ペーパー 保険金査定掲示板	高度障害支払査定時に、法人契約の別口契約が判明した場合の請求案内を中止したもの。 (1)請求権者が被保険者(本口と同じ)⇒案内しない。 (理由) ・保険料は法人負担であり法人が関与せぬまま保険金が支払われて契約が消滅することは妥当ではない。 ・高度障害は選択的請求権である。 ・法人は被保険者が死亡した際の再慰金の目的で加入しているため。 (2)請求権者が法人の場合(本口と別)⇒案内しない。 *理由は(1)と同様	法人からの苦情をきっかけに案内を中止したものの、神保業務主任の記憶では、このルール策定前は件数は極小なるも法人契約別口の請求案内を行っていたこと。 被保険者が法人代表者か従業員か、請求権者が法人か被保険者かで4通りの請求形態があるが、このうち被保険者が従業員で請求権者が法人の場合に請求案内しない理由についてペーパーに記載がない。
4	診断書にて高度障害と判断する場合	ペーパー B ノーツD B 査定・事務知識DB	平成11年1月8日付ペーパー(高度)障害査定時の内規の廃止により、リスフラン関節及び手根中手関節での切断を「上下肢の切断」とする取扱を廃止したことに伴い、給付金診断書上「両足切断」とのみあるものについて、足関節(もしくは)以上で切断されているかどうか不明であることから、請求案内を実施しないこととしたもの。	なお、被保険者・請求権者がともに法人代表者の場合の中止理由として「当然請求が出てくる筈」の記載あり、当時請求が当然なされるといふ考えが根拠な査定基準の変更に伴う案内中止であり、特に問題ないものと思われる。

取扱注意

議員応接録

日 時：平成19年5月17日(木) 12:27~12:30
 場 所：第二議員会館 541号室
 先 方：金融調査会長 金子一義衆議院議員(●)
 当 方：第一生命 小谷調査部長、側(O)

・5/18(金)の参考人質疑が、午前：MYコールセンター、午後3時から生損それぞれ1時間質疑と決まったことの報告並びに、9月以降に生損それぞれ複数社を呼ぶことを与野党で握ったとの噂についての、確認に伺った。(飛び込み)

<主なやりとり>

○議員にご支援いただき、明日の参考人質疑は生損ともに1時間ずつとなった。ただ、当初より生保の質疑時間が減る代替案として午前に明治安田生命のコールセンターの視察が入った。

● 明治安田さんは、大変かもしれないが、委員会ではないのだから良かったのではないか。

○先生のおかけであり、ご配慮に感謝する。あとは、与野党間で9月末をめぐりに複数社での参考人招致が囁かれたとの話もあるが(民主党ペーパーを提示)。

● 国対から、伊藤委員長の意向だと思いが、9月末の報告が出揃ったところでの参考人かどうかと話があった。自分からは、各社の調査が出揃ったところという理屈はわかるが、どこを呼ぶとか等の具体的な話は、その時点で話し合えと言っておいたのだが、「複数」というのも理解できない。ただ、これから選挙もあるし、どうなるかわからないだろう。野党は別にしても、委員長と与党の筆頭は変わるだろうし。政治家の約束が軽いと思っても困るのだが、例えば予算委員会では、日歯の田田会長を呼ぶという委員長意書まで残っていたにも関わらず、蹴っ飛ばしたくらいだ。今は、気にしなくて良いのではないか。その時はその時で、また頑張るとのことだ。それから、山本筆頭には、ずいぶん頑張ってもらった。くれぐれもよろしく頼む。

以上

取扱注意

議員応接録

日時：平成19年4月16日(月) 16:00~16:45
 場所：第二議員会館 441号室
 先方：財金部会長 山本明彦衆議院議員(●)、
 当方：第一生命 渡邊常務、小谷調査部長、側(○)

・4月13日(金)に各社が128条報告の結果のプレス発表を行った報道状況が厳しいことから、山本部長に今後の事態収束に向けた相談に伺った。

<主なやりとり>

- 明治安田と日本は社長が回ってきた。第一はどうするのか。
- 業務停止を受けたり、業務改善命令の期間中であることから、丁寧に対応されているのではないかと、当社は協会会長社として、今後の政治対応について相談に上がった。
- 財金部会は、開かないと収まらないだろう。
- それは覚悟している。隣連の開催はどうか。マスコミの報道は、思った以上に、保険の不安をあおるものだった。意図的なものも感じている。
- 隣連の開催は、任せる。部会はガス抜きとして必要だろう。ところで、今回、問題が見つかったのは、通院部分が多かったのか。
- 件数では通院、金額ではガンなどの特定疾病保険になる。今回、生保が支払検証し発表したのは、いわゆる第3分野に関わる商品が多く、同様の商品を損保も販売している。しかし損保業界では未だ手をつけていない状況である。金融庁は一体そこをどうするつもりなのか。ただ、実態として今の損保業界はそこまで手が回らない状況であることも理解している。
- 損保の方が、その分野の態勢は弱いからな。
- 金曜日に池田元久議員の事務室にプレス資料を届けた際、池田議員が在室中で、「今日はいいいけど、呼ぶから。」と言っておられた。国会の参考人招致はどうか。
- 民主は、呼びたがるだろう。個社はともかく、協会長が呼ばれるのは仕方ないだろう。
- マスコミ報道を受けて顧客から既に反応が出ている。苦情申し出であるのは、「病気で入院した。あとは保険会社で勝手に調べて払ってくれ。」というもの。イギリスにはホームドクター制度があるの。保険会社はその医師に聞く。医師に聞く。そのような仕組みがあれば別だが、日本の今の医療制度の中では、病院が自由に選べるため、実現するにはコストがかかりすぎて難しい。生保業界としては、われわれに反省すべきところがあったのは事実だが、金融行政が不十分だったのでないかとか、消費者にも不十分な点があったのではないかと三方向両損のような話でないかと、納得しがたい。
- マスコミは、一方的に豊くから、仕方ない。反論すれば、開き直りだとしてられる。見せる弱みは一個でも減らすしかない。
- そもそも、今回の報告命令は、各社に対して発出され、金融庁が報告を受けたもの。各社の公表の身(数字や再発防止策等)、取組みに違いがあり、協会長といえども他社のことを答えられない。

- 事前に各社から資料を貰って説明するとかできないものか。
- プレスは、HPに公表されているのでそれを使用し、大まかに協会会長社が説明、個社が応えられない質問があれば、個社に説明いただくなどは対応できるかもしれない。ただ、これは、部会レベルまでの話。国会はそうはいかない。
- 国会は議事録が残るから、重みが変わってくる。
- そのとおり、各社の取組みについて協会長が言及することはできない。国会で答弁頂くべきなのは、128条報告を受けた金融庁しかない。
- 金融庁で終わらなければ、実現するのは難しいのだから、各社社長か、明日は、衆議院財金委員会の理事懇がある。民主の池田常務理事から参考人の話が出るかもしれない。

※メモからおとした常務発言部分

- ・ 「生保は約款、法令を越えて、保険金を払える可能性のあるもの見つけ出して、払って行こうとしている。それに、行政処分を行ってよいのか。」といったことを議員から発言いただけないものか。以上

支払い問題に関する山本明彦副大臣並びに小沢秘書とのこれまでのやりとり

(◎：副大臣、○：秘書、●：当事)

【2010年6月19日(木) 10:30頃】

(金融庁内の動きを確認するために議員会館を訪問し、小沢秘書と面談)

- 7月に予定されている総代会に向けて、またマスコミが業界や金融庁を嗅ぎ回っているようだ。副大臣にもマスコミから色々な照会があるのではないかと心配している。
- 決算発表の時のように損保の保険料取りすぎや生保の保険料取りすぎ、三菱UFJのシステム統合等、話題野村證券のインサイダー、生保の不払い、損保の保険料取りすぎ、三菱UFJのシステム統合等、話題が豊富でマスコミが色々動いている。
- 先日、本事務年度では判断をしないのではないかという話を伺ったが、その後、事務方のステータスが変わったという話は聞いていない。
- そのような話は聞いていない。処分を出す前に報告するように事務方には伝えている。
- そのような話があれば、協会長会社に相談があるのではないか。
- 処分を出すのであれば、うちをれすなと言っている。
- まだ報告はないということか。
- そうだ。長官にあげた段階で連絡して欲しいと保井課長にお願いしているが、連絡はない。
- 長官から副大臣に来るまで1～2週間程度かかると聞いている。
- 中小へのヒアリングも時間をかけてやろうという話だったので、まだ終わっていないのではないか。
- 今後、副大臣には外遊等の予定は入っていないのか。
- 北朝鮮問題の特別委員会もあり、外遊予定はない。何か動きがあれば、連絡する。
- 承知した。今後ともよろしくお願ひしたい。

【2010年6月20日(金) 17:30頃】

(社民党より提出された質問主意書の件で議員会館を訪問し、副大臣に面談したため面談)

- ◎ 御社は噂になっているぞ。
- ◎ どのような噂か。
- ◎ 近々、処分が出るという話だ。
- 当社だけの名前が出ているのか。
- ◎ 外資系1社と御社の名前が出ているようだ。
- ◎ 一つその話を聞いたのか。
- ◎ 今日だ。金融庁担当記者から聞いた。
- そんな噂を流すのはY社やA社か。
- ◎ 社名は言えない。
- 噂は金融庁内にも広まっているのか。
- ◎ 事務方から情報を取っているのであれば、もっと突っ込んだ聞き方をしてくるはずだが、「そんな噂があるようだ」と言った感じだったので、マスコミ内での噂ではないのか。
- 決裁は副大臣に上がっているのか。
- ◎ まだない。物によって違うが、前日に来るものもあれば、10日前に来るものもある。
- 個人的な意見だが、処分のタイミングは遅いと思っただけで、中小の態勢整備が出来ていないので、ヒアリングを行っている間に各社が態勢整備を完了したので処分は出さないと考えている。良いのではないか。「処分するな」とは言えないが、改善した会社に改善命令は出せないと考えている。
- 処分しなくても会社を改善させることは行政としてあるべき姿であるし、それがベターレギュレーションということだと思っただけだ。
- ◎ 以前、事務方が「M社やN社に処分を出して他社に出さなかつた場合、不公平になる」と気にしていたので、N社に確認したことがあったが、「処分される会社とされない会社があったとしても我々は不公平だとは思わない。」と言っていたので事務方にはそれも伝えている。
- 噂があることを会社に伝えると驚くだろうから、言わないようにしてくれ。

【2010年6月20日(金) 19:00頃】

(山本副大臣のアポ取りのため、当方より先方の事務所へ電話)

- 先程、副大臣から聞いた噂を広報部に聞いたところ、当方でもその話は掘んでいた。
- そうだろう。あれから色々情報を集めているが噂の確度は高いようだ。
- 実話、週末にもなんらかの個別記事が書かれる可能性があるから、その件で山本副大臣にご説明をさせていただきたい。専務と部長を連れて訪問したいので月曜日の夕方にでも時間をいただきたい。場所は副大臣室ではなく、議員会館でお願いしたい。
- 分かった。それなら少し早く良いだろう。23日(月)16時でどうか。
- 承知した。訪問の際にはマスコミの目につかないような配慮をお願いしたい。

【2010年6月20日(金) 19:30頃】

(小沢秘書より当方へ電話)

- 先程、御社広報部も情報を掘っていたという話があったが、どこか会社が流しているという話なのか社名を教えて欲しい。
- A社のような。これは小沢秘書限りでお願いします。
- やはりそうか。A社はかなり動いているようだ。

【2010年6月20日(金) 20:40頃】

(当方より小沢秘書へ電話)

- 山本副大臣に噂話をしていた会社を教えてくれないか。
- 副大臣が言えないと言っているので教えられないが、A社ではない。
- 自分が集めた情報によるとすぐに処分は出ないと思うし、そのような記事は出ないと思う。
- それはどうということか。
- 金融庁内ではそこまでステータスになっていない。A社も金融庁とは接触しておらず、独自で動いているようだ。
- A社は色々アンケートを取っており、御社に対しても行っているようだが、もう回答したのか。
- アンケートは来ているようだが、回答の有無は分からない。
- A社が記事にするとすれば、アンケートを示した個別記事だと思われるが、その内容は行政処分と似たものでなく、御社が3月に書かれた記事の後退の後の内容のようだが、何かあったのか。
- そのような話を聞いたことがない。

以上

(保険金支払い問題)

○保険金支払い問題については、当社も昨年の今頃は実質業務停止状態で土日も費やし、かなりの改善策を着実に講じてきたが、あの時の苦労がようやく実ってきてきており、契約者との関係では当社の好感度がむしろ上がった程だ。このような問題により最善策をとったことで契約者との関係は良好な方向へ行っている。

●「処分するな」とは言えないが、「改善した会社に改善命令は出せない」という言い方はしている。不公平があってもいけないが、ある保険会社は「処分する会社と処分されない会社がある。不公平は絶対に不公平だと言わない」と言っていたので役所にもそう伝えてある。

○我々は処分を受けずとも実質的に自らの業務停止状態に追い込む程の改善策を講じてきた。恐らく当社に限らず他社も可能な限りの経営資源を投入し改善したので、「処分をしないで済ませたい」ということにならなければ、行政としてのあるべき姿として非常に良いことであると思う。また、ペタレキュレーションとはそういうことだと理解している。処分しなくても業界が改善意欲を絶対に落とさないということだ。

●小さい会社が出てきているというので時間をかけている。この辺をしっかりと調査をしているということだ。

○しっかりと調べてほしい、その間も努力することで業界もかなり改善されてきている。これからはもうよろしくお願ひしたい。

以上

取扱注意

応接録(議員メモ)

日時：平成20年3月11日(火) 13:10~13:30

場所：金融庁副大臣室

先方：山本明彦 金融担当副大臣 (●)

当方：渡邊常務、小谷部長、畑中部長、影山 (○)

調査部長の交代挨拶訪問を行い、山本副大臣と面談。新旧調査部長挨拶後の主なやり取りは以下の通り。

(株式会社化)

○株式会社化は大きな話だと思っている。

●何年後に予定しているのか。

○2年後である。世の中にはそういった報道をされていないが、当社にはこれまで蓄積されてきた自己資本に相当する金額が約2兆円ある。基本的には株式化することにより、この2兆円がある日突然マーケットに出てくる。整数株については株として契約者に渡る。端株については契約者との間で現金精算し、その部分はIPOにより投資家に渡る。

●基本的には個人の契約者に行くのか。

○予定利率が高いものについては難しいかもしれないが基本的にはその通りである。配当も定款等で一定の保護をすずと決める等、契約関係はこれまでもと変わらない。契約関係はほとんど変わらないが、創業以来100年以上ストックとして集めてきたものが世の中に出ることになり、約600万名の国民の銀行口座に端株の処理として十数万円単位の現金が流れる。

●2兆円という数字は加入者から見れば利益分ということなのか。

○通常の契約者配当はフロアの保険料精算分であるが、株式の寄与分は元々契約者のものである。相互会社では契約者はみな社員であり、元々は契約者のものが自己資本相当として内部留保しており、世の中には見えなくなっている。今は第一生命の内部留保だと思われるものがある日突然、現金や株でマーケットに出てくるため、イギリスでも起こったように総需要を喚起するだろう。

●会社にとってはどのような影響があるのか。

○会社はニューラルである。内部留保が株になるだけであり、資本であることには変わりない。今まで内部留保だったものが契約者や投資家が株として持ち替えるだけであり、構成が変わるだけである。NTTの3倍近い株主を持つ株式会社となる。

また、整数株部分だけで証券口座が約300万増える。端株処理を含めると約850万人の契約者のうち600万人程度に何らかの手当が出てがある。イギリスでは「タナボタ益」という言い方をしているが、ある日突然、「株を持って」と言われて金を出すのかと思っただら金ももらえたという話であり、総需要喚起には間違いない。これは減税額2兆円と同じような効果がある。

●他の会社でも株式会社化は進むのか。

○イギリスでは大手がやった途端に「タナボタ益」が話題となり、契約者からの株式会社化圧力が高くなるので進みやすくはなるだろう。

平成18年8月吉日

衆議院議員 山本明彦 先生

第一生命保険相互会社
常務執行役員 茨邊 光一郎

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。


平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、既にご内意をいたしておられます。下記の通り開催致したく
ご案内申し上げますので、ご来臨賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成18年9月5日(火) 18時30分より

1. 場 所 「」
(住所)
(電話)
※別紙地図をご参照下さい。

1. ご案内先ご芳名
衆議院議員 山本明彦 先生
政 策 秘 書 小 深 貴 仁 様

1. 当社出席者
常務執行役員 茨邊 光一郎
調査部長 小 側 隆 之 紹
調査部次長 小 側 敬

以 上

平成19年度寄付一覧

寄附種類 (修正後)	経理日	所属	入力機関	入力機関名金額	所管	摘要
一般	20070402	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	衆議院議員 春の国政報告会「パーティー券代総E第1号
一般	20070402	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	衆議院議員 政経セミナー「パーティー券代総E第2号
一般	20070402	020	0200100	総務課 140,000	調査(政)	君と語る会「パーティー券代総E第3号
一般	20070409	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	新世代の会フォーラムスパン第4回勉強会「パーティー券代総E4号
一般	20070409	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	モーニングセミナー「パーティー券代総E8号
一般	20070409	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	君を励ます会「パーティー券代総E9号
一般	20070409	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	大阪政経セミナー「パーティー券代総E第15号
一般	20070423	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	東京会「パーティー券代総E第18号
一般	20070423	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	第3回 会「パーティー券代総E第19号
一般	20070423	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	衆議院議員 君を励ます会「パーティー券代総E第20号
一般	20070423	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	第15回 政経セミナー「パーティー券代総E第22号
一般	20070423	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	平成研究会セミナー「パーティー券代総E第23号
一般	20070423	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	さんを励ます会「パーティー券代総E第24号
一般	20070423	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	第15回 国政報告会「パーティー券代総E第25号
一般	20070423	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	番町政策研究所「2007躍進の集い」P券代総E第28号
一般	20070423	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	番町政策研究所「2007躍進の集い」P券代総E29号
一般	20070423	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	番町政策研究所「2007躍進の集い」P券代総E第30号
一般	20070509	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	明風会「パーティー券代総E第35号
一般	20070511	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	清和政策研究会フォーラム「パーティー券代総E第38号
一般	20070511	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	清和政策研究会フォーラム「パーティー券代総E第39号
一般	20070515	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	さんを励ます会「パーティー券代総E第42号
一般	20070521	020	0200100	総務課 160,000	調査(政)	宏池会と語る「パーティー券代総E第44号
一般	20070605	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	第4回金融勉強会「パーティー券代総E60
一般	20070606	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	民主党「パーティー券代総E65
一般	20070607	020	0200100	総務課 160,000	調査(政)	君を励ます会「パーティー券代総E69
一般	20070611	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	勉強会「パーティー券代総E71
一般	20070611	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	とともに日本をあらためる会「パーティー券代総E72
一般	20070611	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	を励ます会「パーティー券代総E73
一般	20070612	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	新時代政経セミナー「パーティー券代総E54
一般	20070613	020	0200100	総務課 75,000	調査(政)	モーニングセミナー「パーティー券代総E76
一般	20070613	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	政経セミナー「パーティー券代総E77
一般	20070613	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	第19回年次特別セミナー「パーティー券代総E78
一般	20070613	020	0200100	総務課 180,000	調査(政)	君のさらなる活躍に期待する会「パーティー券代
一般	20070615	020	0200100	総務課 140,000	調査(政)	政経セミナー「パーティー券代総E81号
一般	20070615	020	0200100	総務課 140,000	調査(政)	君を励ます会「パーティー券代総E83号
一般	20070615	020	0200100	総務課 160,000	調査(政)	福活21・政経セミナー「パーティー券代総E84号
一般	20070615	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	君と国政を語る会「パーティー券代総E85号
一般	20070625	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	君と新しい時代を創造する会「パーティー券代総E90号
一般	20070625	020	0200100	総務課 180,000	調査(政)	信誠会セミナー「パーティー券代総E93号
一般	20070625	020	0200100	総務課 50,000	調査(政)	明風会「パーティー券代総E94号
一般	20070627	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	さんを励ます会「パーティー券代総E第98号
一般	20070627	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	君と語る会「パーティー券代総E第99号
一般	20070720	020	0200100	総務課 140,000	調査(政)	第三回新潮流シンポジウム「パーティー券代総E第103号
一般	20070720	020	0200100	総務課 75,000	調査(政)	モーニングセミナー「パーティー券代総E第105号
一般	20070720	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	国政報告会「パーティー券代総E第108号
一般	20070802	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	第16回 国政報告会「パーティー券代総E第111号
一般	20070803	020	0200100	総務課 120,000	調査(政)	第36回 国政報告会「パーティー券代総E第113号
一般	20070803	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	衆議院議員 夏の国政報告会「パーティー券代総E第114
一般	20070827	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	衆議院議員 東京政経セミナー「パーティー券代総E116
一般	20070907	020	0200100	総務課 140,000	調査(政)	衆議院議員 フォーラム「P券代総E122号
一般	20070919	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	第37回 国政報告会「パーティー券代総E第137号
一般	20070919	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	衆議院議員 第4回新潮流シンポジウム「P券代総E13
一般	20070919	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	新世代の会フォーラムスパン第5回勉強会「P券代総E131
一般	20070926	020	0200100	総務課 75,000	調査(政)	衆議院議員 モーニングセミナー「パーティー券代総E133
一般	20071010	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	衆議院議員 国政報告会「パーティー券代総E第141号
一般	20071010	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	衆議院議員 2007秋の国政報告会「P件代総E第142号
一般	20071010	020	0200100	総務課 120,000	調査(政)	衆議院議員 創風会総会「パーティー券代総E第143号
一般	20071010	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	衆議院議員 第6回 君と語ろう会「P券代総E146
一般	20071010	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	衆議院議員 第24回明風会自由社会研究会総会「P件総E147
一般	20071010	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	衆議院議員 君と明日の日本を語る会「パーティー券代総E148
一般	20071019	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	衆議院議員 を囲む「第5回金融勉強会「P券代総E153
一般	20071019	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	衆議院議員 政経セミナー「パーティー券代総E154号
一般	20071030	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	議員在職15周年祝う会「パーティー券代総E第159号
一般	20071030	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	2007年政経フォーラム「君と語る会「P件代総E第160
一般	20071105	020	0200100	総務課 180,000	調査(政)	衆議院議員 第26回シンポジウム「P券代総E168号
一般	20071122	020	0200100	総務課 140,000	調査(政)	衆議院議員 第5回新潮流シンポジウム「P券代総E176号
一般	20071122	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	衆議院議員 モーニングセミナー「P券代総E第177号
一般	20071122	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	衆議院議員 勉強会「パーティー券代総E第178号
一般	20071122	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	を囲む会「パーティー券代総E第179号
一般	20071128	020	0200100	総務課 120,000	調査(政)	衆議院議員 君を囲む会「パーティー券代総E184号
一般	20071203	020	0200100	総務課 100,000	調査(政)	衆議院議員 モーニングセミナー「パーティー券代総E187号
一般	20071203	020	0200100	総務課 60,000	調査(政)	衆議院議員 第30回創造経済研究会「P券代総E189号
一般	20071204	020	0200100	総務課 200,000	調査(政)	衆議院議員 さんを支える会「パーティー券代総E198号
一般	20071206	020	0200100	総務課 80,000	調査(政)	衆議院議員 福活21・政経セミナー「P券代総E196号

一般	20071206	020	0200100	総務課	60,000	調査(政)	元衆議院議員	「をを支える会」望年会P券代総E199号
一般	20071206	020	0200100	総務課	180,000	調査(政)	衆議院議員	「と国政を語る会」パーティー券代総E201号
一般	20071210	020	0200100	総務課	200,000	調査(政)	衆議院議員	「国政報告会」JP券代総E204号
一般	20071210	020	0200100	総務課	200,000	調査(政)	衆議院議員	「君と語る会」JP券代総E205号
一般	20071210	020	0200100	総務課	100,000	調査(政)	衆議院議員	「フォーラム」JP券代総E206号
一般	20071210	020	0200100	総務課	200,000	調査(政)	衆議院議員	「君を囲む会」JP券代総E208号
一般	20071217	020	0200100	総務課	200,000	調査(政)	衆議院議員	「2007冬の国政報告会」P件代総E213号
一般	20071217	020	0200100	総務課	60,000	調査(政)	衆議院議員	「第4回」会」パーティー券代総E214号
一般	20071217	020	0200100	総務課	80,000	調査(政)	衆議院議員	「を励ます会」JP券代総E217号
一般	20071225	020	0200100	総務課	12,260,000	調査(政)	(財)国民政治協会	への平成18年度会費総E第221号
一般	20080116	020	0200100	総務課	60,000	調査(政)	衆議院議員	「第17回」国政報告会P券代総E224号
一般	20080116	020	0200100	総務課	80,000	調査(政)	参議院議員	「第13回朝食勉強会」パーティー券代総E225号
一般	20080123	020	0200100	総務課	120,000	調査(政)	参議院議員	「第13回朝食勉強会」パーティー券代総E228号
一般	20080123	020	0200100	総務課	60,000	調査(政)	衆議院議員	「政経セミナー」JP券代総E232号
一般	20080123	020	0200100	総務課	160,000	調査(政)	衆議院議員	「君を励ます会」JP券代総E233号
一般	20080123	020	0200100	総務課	60,000	調査(政)	衆議院議員	「大阪政経パーティー」JP券代総E234号
一般	20080130	020	0200100	総務課	140,000	調査(政)	衆議院議員	「第38回」国政報告会P券代総E235号
一般	20080130	020	0200100	総務課	180,000	調査(政)	衆議院議員	「第11回21世紀問題懇話会」P券代総E240号
一般	20080130	020	0200100	総務課	120,000	調査(政)	衆議院議員	「東京」会セミナー」パーティー券代総E241号
一般	20080204	020	0200100	総務課	80,000	調査(政)	衆議院議員	「根本匠政経セミナー」パーティー券代総E246号
一般	20080204	020	0200100	総務課	50,000	調査(政)	衆議院議員	「新春国政報告会」パーティー券代総E242号
一般	20080220	020	0200100	総務課	80,000	調査(政)	衆議院議員	「平成研究会セミナー」JP券代総E252号
一般	20080229	020	0200100	総務課	100,000	調査(政)	衆議院議員	「を囲む第6回金融勉強会」P券代総E255号
一般	20080310	020	0200100	総務課	180,000	調査(政)	衆議院議員	「第16回政経セミナー」JP券代総E264号
一般	20080328	020	0200100	総務課	200,000	調査(政)	衆議院議員	「君と語る会」JP券代総E270号
一般	20080328	020	0200100	総務課	200,000	調査(政)	衆議院議員	「2008春の国政報告会」P券代総E271号
一般	20080328	020	0200100	総務課	200,000	調査(政)	衆議院議員	「出版記念会」JP券代総E274号
一般	20080328	020	0200100	総務課	140,000	調査(政)	衆議院議員	「H20第1回新潮流シンポジウム」P券代総E275号
一般	20071122	045	0450000	調査部	50,000	調査(政)	ボランティア活動	」への協賛
一般	20080307	045	0450000	調査部	100,000	調査	(社)	への寄付金

■国会議員と協会長担当会社との懇親会実施状況

①平成18年度

実施月日	出席者			費用総額	当社員負担額	単価	懇親会場
	当社	業界（他社）	議員/事務所				
1 H18. 4. 11	部長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長 協会: 調査役	議員 秘書	¥250,635	¥46,994	¥31,330	
2 H18. 6. 20	部長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長 協会: 部長	議員 秘書 議員	¥141,680	¥27,548	¥15,742	
3 H18. 7. 5	部長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長	議員	¥107,175	¥22,327	¥17,863	
4 H18. 7. 20	部長	N社: 副社長、部長、課長 M社: 常務、部長、課長 S社: 部長 協会: 部長	議員 秘書	¥161,985	¥22,087	¥14,726	
5 H18. 10. 3	部長	N社: 部長 M社: 常務、部長、(課長) S社: 部長 協会: 部長	議員 秘書 秘書	¥213,340	¥36,085	¥23,000	
6 H18. 10. 19	部長 次長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長 A社: 部長	議員 秘書	¥144,099	¥43,235	¥18,012	
7 H18. 11. 28	部長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長 協会: 調査役	議員	¥114,425	¥20,432	¥16,346	
8 H19. 3. 12	部長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長 協会: 部長	議員 秘書 秘書	¥188,220	¥36,597	¥20,914	
9 H19. 3. 22	部長 次長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長	議員 秘書	¥220,000	¥55,000	¥22,000	
18年度実績				¥1,541,559	¥310,305	¥19,764	

②平成19年度

実施月日	出席者			費用総額	当社員負担額	単価	懇親会場
	当社	業界（他社）	議員/事務所				
1 H19. 4. 27	常務 部長 次長 支社長(鹿児島) 営推統括部長	N社: 部長、支社長 M社: 部長、支社長 S社: 部長、総務部長	議員 秘書	¥193,980	¥82,074	¥14,922	(鹿児島)
2 H19. 10. 11	部長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 常務、部長、調査役	議員 秘書	¥197,967	¥32,994	¥24,746	
3 H19. 10. 24	課長	N社: 常務、部長、課長 M社: 常務、部長、課長 S社: 部長 協会: 部長	議員 秘書	¥210,210	¥28,665	¥19,110	
19年度実績				¥602,157	¥143,733	¥18,818	

③平成20年度

実施月日	出席者			費用総額	当社員負担額	単価	懇親会場
	当社	業界（他社）	議員/事務所				
1 H20. 4. 17	部長	N社: 部長、課長 M社: 部長 S社: 部長 協会: 調査役	議員 秘書	¥198,105	¥34,668	¥24,763	
2 H20. 6. 24	部長	N社: 部長、課長 M社: 課長 S社: 部長	議員	¥134,320	¥27,983	¥22,386	
3 H20. 6. 27	部長 支社長(高松)	N社: 部長、支社長 M社: 部長、課長、支社長 S社: 部長、支社長 協会: 部長、調査役、事務局長	議員 秘書	¥307,530	¥54,915	¥21,966	(高松)
20年度実績				¥639,955	¥117,566	¥22,856	

④平成20年度予定

実施月日	出席者予定者			費用総額予測	当社員負担額	単価	懇親会場
	当社	業界（他社）	議員/事務所				
4 H20. 10. 23	専務 部長	N社: 専務、部長 M社: 専務、部長 S社: 専務、部長、調査役	議員 秘書	¥242,000	¥55,000	¥22,000	
5 H20. 10. 28	専務 部長 課長 支社長(前橋)	N社: 部長、支社長 M社: 専務、部長、支社長 S社: 部長、支社長	議員 秘書 秘書	¥308,000	¥82,500	¥22,000	(前橋)
6 H20. 11. 14	部長 支社長	N社: 部長、課長、支社長 M社: 部長、支社長 S社: 部長、支社長	議員 秘書	¥242,000	¥55,000	¥22,000	(松山)
7 未定	部長 支社長(静岡)	N社: 部長、支社長 M社: 部長、課長、支社長 S社: 部長、支社長	議員 秘書	¥242,000	¥55,000	¥22,000	(清水)
8 未定	部長	◎社調査部長、M社: 課長	議員 秘書	¥264,000	¥33,000	¥22,000	
9 未定	部長 課長	N社: 部長、課長 M社: 部長、課長 S社: 部長、調査役	議員 秘書	¥220,000	¥55,000	¥22,000	
10 未定	部長 支社長(青森)	N社: 部長、支社長 M社: 部長、課長、支社長 S社: 部長、支社長	議員 秘書	¥242,000	¥55,000	¥22,000	(青森)
11 未定	部長 課長	N社: 部長、課長 M社: 部長、課長 S社: 部長、調査役	議員 秘書	¥220,000	¥55,000	¥22,000	
12 未定	専務 部長 課長	N社: 部長 M社: 部長 S社: 部長	議員	¥154,000	¥77,000	¥22,000	
20年度追加実績予測				¥2,134,000	¥522,500	¥22,000	

5/18(金)参考人お礼訪問対応(案)

	政党	担当	議員名	主要現職	ご協力	会館	部屋番号
1	自民	K	石原 伸晃	幹事長代理、金調顧問	参考人の限定、時間短縮に尽力 (幹事長、国対委員長への根回し)	1	743
2	共産		佐々木 憲昭	財務金融委員会質問者	事前質問通告にご協力	1	730
3	自民	D	宮下 一郎	財務金融委員会理事	理事懇に関する情報提供	1	722
4	民主		鈴木 克昌	財務金融委員会質問者	事前質問通告にご協力	1	620
5	民主	K	池田 元久	衆民主財金筆頭理事	野党筆頭への表敬	1	631
6	民主	K	古本 伸一郎	衆民主財金理事	野党理事への表敬	1	532
7	自民	MY	大野 功統	衆財金委員	財金委員会ご出席	1	431
8	民主	K	小沢 鋭仁	民主財金委員	理事懇に関する情報提供 鈴木議員他への根回し(事前通告、内	2	641
9	自民	S	金子 一義	金融調査会長	参考人の限定、時間短縮に尽力 (幹事長、国対委員長への根回し)	2	541
10	自民	K	山本 明彦	財金部会長、衆財金筆頭理事	野党との折衝、与党質問	2	441
11	自民	S	伊藤 達也	衆財金委員長	参考人の最終調整(川崎経由)	2	435
12	自民	D	尾身 幸次	財務大臣	山本筆頭、坂本国対筆頭への根回し	2	306
13	自民	D	江崎 洋一郎	財務大臣政務官	理事懇の情報提供(自主的)	2	238

H20年度議員取組姿勢一定義

	対象議員	取組姿勢	懇親会合	例会・集会	パーテイ券対応	要望活動
1-A 主要議員	○業界に対する理解が深く、様々な場面での活躍、業界のために資する助言等が引き続き期待できる議員。 ○上記(1-A)のうち、現職関係である議員。	○緊密な関係を維持し、更なる理解を深める。 ※関係については、議員本人への積極的な接触は避ける。	○原則として、4社部長会を年1回開催。 ※関係については、先方の意向を最優先し、可能であれば4社部長会を年1回開催。	○原則として、年1回地方協会主催の例会を開催。 ○先方から要望がある場合集会の可否を検討する。 ※関係については、先方の意向を最優先し、要望があれば上記と同様の対応を検討する。	○原則として、現状維持とするが、各社の負担が増えないよう留意する。	○一斉活動の際は、担当会社が必ず対応する。 ※一斉活動の際は、担当会社が必ず秘書経由でも資料をお届けする。
2-A 友好議員	○業界に対する理解があり、親密な関係にあるもの、政治信条が強い等の理由で領域が限定されるもの、大きな活躍が期待できる議員。	○親密な関係を維持するとともに、更なる理解を得るよう努力する。 ※関係については、議員本人への積極的な接触は避ける。	○同上。	○同上。	○同上。	○一斉活動の際は、十分な理解を得るよう、担当会社が責任を持って対応する。 ※関係については、担当会社が必ず秘書経由でも資料をお届けする。
2-B 友好議員候補	○今後の対応によって、上記(2-A)の友好議員になる可能性が高い議員。	○業界に対する理解を深めて頂けるよう、日常の活動を高める。	○状況を見つつ、4社部長会の開催を検討する。	○状況に応じて、その都度検討する。	○協議のうえ、親密度合いの高まりによっては運増も可。	○一斉活動の際は、担当会社が必ず議員に会い十分な説明を行う。
3-A ポスト議員	○業界に関係する政府、議院、党の役職に就いている議員のうち、業界に対する理解がある議員。	○立場を尊重し、TPOを考慮したうえで、更なる理解を得るよう活動する。	○先方の意向によって、4社部長会の開催を検討することも可。	○状況に応じて、その都度検討する。	○原則として、現状維持とするが、重要ポストに就いている期間に限り特別対応の検討も可。	○該当する案件の一斉活動の際は、担当会社が必ず対応する。
3-B 幹部議員	○業界に関係する政府、議院、党の役職に就いているが、業界との関係が希薄な議員。	○業界に対する理解を得られるよう努力する。 ○一方で、今後の取組の方向性を見極める。	○原則として、行わない。	○原則として、行わない。	○原則として、現状維持か運減。	○各々の議員に応じて、担当会社が対応する。
4 功労議員	○過去に業界と親密であったが、現在はやや関係が薄れている議員。	○今後の取組の方向性を見極めていく。	○対象外。	○対象外。	○原則として、現状維持か運減。	○案件に応じて、担当会社が対応する。
5 論客議員	○過去に業界とTRBがあつたが、反業界的な発言を行つた議員。また、その懸念がある議員。	○可能であれば、好ましくない状況を解消していく努力を慎重に行うことも検討する。	○対象外。	○対象外。	○原則として、対応しない(特段の事情がある場合、協議・検討を行う)。	○原則として、対応しない(必要と思われる場合、協議のうえ協会長会社が対応)。
6 若手議員	○当選回数や年齢が比較的若く、業界に関する専門分野があるか、関係する部会等に所属している議員。	○担当会社を中心に、今後の取組の方向性を見極める活動を行う。	○対象外。	○原則として、行わない。	○原則として、担当会社のみの対応(必要がある場合、協議・検討を行う)。	○案件に応じて、担当会社が対応する。
7 関係収束議員	○何らかの影響力を持つ役職に就いているもの、業界との関係もほとんどなくなっている者。	○ポストに返り咲く等、特段のことがない限り、関係を収束していく。	○対象外。	○対象外。	○原則として、運減。	○原則として、対応しない。
8 落選議員	○親密であったが、落選等の事情により国会議員ではなくなつた者。	○復活の可能性を見極めていく。	○対象外。	○対象外。	○関係を維持する場合でも、議員当分の7割限度。維持しない場合は、大幅縮小、収束。	○対象外。

平成20年2月20日

■平成20年度議員取組姿勢(案)

	124	K	25	N	15	D	14	S	10	MY	11	その他	49
1-A 主要議員	12	3	2	3	2	3	2	2	2				0
2-A 友好議員	6	2			0	2	(無)						0
2-B 友好議員候補		(R民)	M				N						
3-A ポスト議員	11	2	S	1	5	(民)			1			(公) (民) (公) (民) (民) (民) (民)	0
※財金部会、 金融担当大臣、 副大臣等	17	6		1	1				0			(公) (民)	9
3-B 幹部議員	5	0			0				0			(公)	4
4:: 功労議員	17	2		(民)	1				1			(民) (R民) (R民)	10
5:: 論客議員	6	3			0				0			(民) (無)	3
6:: 若手議員	43	6			5				0				21
7:: 関係収束議員	2	0			0				0			(R民)	2
8:: 落選議員	5	1			1	(R民)			1				0

※：斜字 は内閣大臣、副大臣、政務官。() は、担当社会設定候補。